

アルミホイール、スチールホイールの履き替え

- スチールホイール、アルミホイールは、それぞれ専用のホイールボルトが必要です。
スチールホイールからアルミホイールに履き替える場合は、アルミホイール用のボルトに交換してください。

※ホイールボルトの交換など、分解を伴う作業は、お近くの整備工場で行ってください。

スチールホイール用ホイールボルトのままアルミホイールを装着すると、ねじのはめ合い長さ不足によって、ホイールボルトやナットのねじ山が破損するなどし、締付け力が十分得られず、車輪脱落事故の原因となります。また、スチールホイールとアルミホイールの混用は行わないでください。

ホイール	スチールからアルミに履き替え	アルミからスチールに履き替え	アルミ用に一時的にスチールを使用
ホイールボルト	ボルトをアルミ用に交換 (ナットは共用品)	ボルトをスチール用に交換 (ナットは共用品)	そのままアルミ用ボルトに スチールホイールを装着 (ナットは共用品)※

※ホイールボルトのねじ部がナットから通常より出っ張ります。出っ張った部分にグリスを塗るなどして、ねじ部の防錆を行ってください。

フロントの例

リア(ダブルタイヤ)の例

アルミ用に一時的にスチールを使用

※この図は正しい組合せを断面図で示したものです。

ポイント

- ・ホイールボルトには、スチール用、アルミ用の識別表示があります。ホイール交換や日常点検の際には、適用するホイール、ホイールボルトであることを確認します。
- ・冬季など、アルミ用ホイールボルトにスチールホイールを一時的に装着する場合は、ボルトの出っ張った部分(ねじ山露出部)にグリスを塗るなどして、ねじ部の防錆を行ってください。この場合、ボルトの識別表示(AL)と、ホイールの種類(スチール)が、一致しくなります。日常点検の際などに注意が必要です。
- ・再びアルミホイールを履く場合には、ねじ部が錆びたまま締付けしないようにします。

※ホイールナットは、スチールホイール、アルミホイールともに共通のため、ナットに識別表示はありません。

ホイールボルトの識別表示

留意点

- アルミホイールの一部には、専用のホイールナット(スリーブナット方式)を用いるものがあります。*
この場合は、ホイールに添付されている取扱説明書に従って交換してください。
誤った使用は、十分な締付け力が得られず、車輪脱落事故の原因となります。

※主に、欧州車などで採用されており、ホイールのボルト穴径が、通常のホイール(26mm)より、大きくなっています。

- この方式のホイールを、通常のホイールナットやアルミ用のホイールボルトを用いて使用すると、十分な締付け力が得られず、ナットの緩みによる脱落やホイールの亀裂、ボルトの折損など、車輪脱落事故の原因となります。

スリーブナット方式用アルミホイール

14 ALCOA WHEEL PRODUCT GUIDE 2024